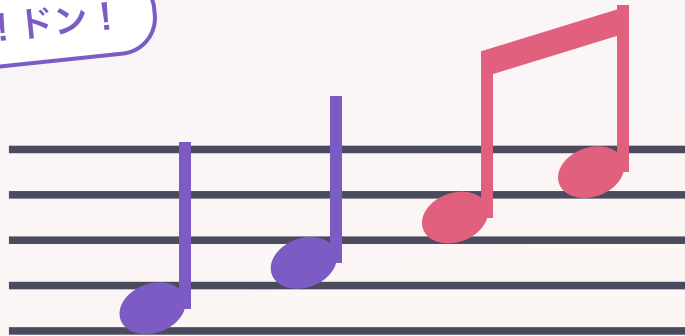


ドン!ドン!



リズムがそろった!

打楽器

たたいて鳴らす、リズムの楽器たち



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

打楽器を知ろう	3～17
打楽器を楽しもう	18～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

打楽器の種類

たたく・ふる・こすることで音が出る楽器の仲間です。

打楽器は、たたいたり、ふったり、こすったりして音を出す楽器の仲間です。太鼓のように皮を張ったもの、木琴のように板をならべたものなど、形はさまざまです。
リズムを刻んだり、曲全体を力強く支えたりと、音楽の土台となる役割を持っています。



皮の打楽器

太鼓のように、皮を張って鳴らす

木・金属の打楽器

木琴・鉄琴のように、板をたたく

ふる打楽器

マラカスのように、ふって鳴らす

すり合わせる打楽器

ギロのように、こすって鳴らす

手でたたく打楽器

カホンのように、体や箱をたたく

対でたたく打楽器

シンバルのように、打ち合わせる

ポイント

- 世界中のほとんどの音楽に、何らかの打楽器が使われています。
- 音の高さがある打楽器と、ない打楽器があります。

やってみよう

- 身のまわりで、打楽器に似た音が出るものを3つ探してみよう。

書いて覚えよう

音程のある打楽器

打楽器の中にも、メロディを奏でられるものがあります。

音程（おんてい）

pitch（ピッチ）

音の高さのこと

有音程打楽器

pitched percussion

音の高さがちがう打楽器

木琴で音の高さを変える



木琴や鉄琴は、板の長さがちがうと、出る音の高さも変わります。

ポイント

- 木琴・鉄琴・ティンパニなどは、音の高さを変えられる打楽器です。
- 板が長いほど低い音、短いほど高い音が出ます。

やってみよう

1. 音程のある打楽器を、知っているだけ書いてみよう。

書いて覚えよう

音の高さがなくても、リズムを豊かに彩ります。

タンブリン

音の高さははっきりしませんが、音色や強さで表情を作ることができます。

- 音程のない打楽器でも、音色や大きさの変化で、豊かな表現ができます。
- リズムをはっきり感じさせる役割を、多く受け持っています。

1. 音程のない打楽器を、知っているだけ書いてみよう。

一般社団法人文化芸術支援協会 | 打楽器 個人の学習目的に限り利用できます（商用利用・再配布禁止）

力をぬいて持つと、よく響く音が出ます。

スティックの端から3分の1あたりを、軽くはさむように持ちます。

書いて覚えよう

たたく場所によって、音の表情が変わります。

低く力強い音で、全体を支えます。

bass drum (バスドラム)

低く大きな音を出す、大きな太鼓

ポイント

- 吹奏楽やオーケストラでは、曲の中でもっとも低い打楽器の1つです。
- 強くたたきすぎず、腕の重みを使ってたたくと、豊かな響きになります。

やってみよう

1. 大太鼓のような低い音を、動画や音源で聴いてみよう。

書いて覚えよう

小太鼓

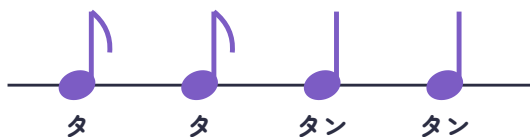
はっきりとしたリズムを刻む太鼓です。

小太鼓（こだいこ）

snare drum（スネアドラム）

裏側に響き線（スナッピー）がついた太鼓

小太鼓のリズムの例



細かい音とはっきりした音を組み合わせると、行進曲らしいリズムになります。

ポイント

- 裏側の響き線のおかげで、パリッとした音がします。
- 行進曲やマーチングでよく使われる楽器です。

やってみよう

1. 上のリズムを、手拍子でたたいてみよう。

書いて覚えよう

金属の板を打ち合わせて、きらびやかな音を出します。

- 2枚の金属の板を打ち合わせて音を出す打楽器です。
- 曲の盛り上がりや、区切りを強調するときによく使われます。
- 1枚だけをスティックでたたく奏法もあります。

1. シンバルの音を、動画や音源で聴いてみよう。
2. どんな場面でシンバルが鳴らされているか、注目して聴いてみよう。

ワンポイント シンバルは音が大きいので、演奏する場所や時間帯に気をつけて練習しましょう。

たたく道具（マレット）で、音色が変わります。

mallet (マレット)

木琴・鉄琴などをたたく、先が丸いばち

- マレットの先の素材（ゴム・毛糸など）によって、音の硬さや響きが変わります。
- やわらかいマレットはやさしい音、かたいマレットははっきりした音になります。

1. 木琴や鉄琴があれば、板の中心をマレットでたたいてみよう。

ペダルで皮の張りを変え、音の高さを調整できる太鼓

世界の打楽器・ラテンの打楽器

世界には、地域ごとの個性的な打楽器があります。

ジェンベ (西アフリカ)

手でたたく、さかずき型の太鼓

タブラ (インド)

2つで1組の、音程のある太鼓

コンガ（ラテン）

手でたたく、背の高い太鼓

ボンゴ

大小2つを組み合わせた太鼓

マラカス

実や種をつめて、ふって鳴らす

✦

みぞをこすって音を出す

ポイント

- 地域ごとに、素材や形、たたき方の工夫がちがいます。
- ラテン音楽では、手でたたく打楽器が多く使われます。

やってみよう

1. 知っている世界の打楽器を、1つ書いてみよう。

書いて覚えよう

箱の形をした打楽器。上にすわってたたく

- たたく面の場所によって、太鼓のような低い音とはっきりした高い音を出し分けられます。
- 手のひらや指で、いろいろな音色を作ることができます。

1. カホンの音を、動画や音源で聴いてみよう。
2. 面の中心とふちで、音のちがいに注目してみよう。

同じ音を、細かく連続してたたく奏法

書いて覚えよう

強く

弱々

- 腕を大きく振ると強い音、小さく振ると弱い音になります。
- 強弱をつけると、同じリズムでも表情が生まれます。

1. 同じリズムを、強くたたいたあと、弱くたたいてくらべてみよう。

- 打楽器は、ほかの楽器がそろって演奏しやすいように、リズムの土台を作ります。
- テンポ（速さ）が安定していると、合奏全体がまとまりやすくなります。

1. 手拍子で一定のリズムを刻みながら、好きな歌を歌ってみよう。

ワンポイント リズムがずれたときは、あわてず、一定の速さにもどすことを優先しましょう。

打楽器アンサンブル・打楽器のマナー

みんなで音を重ねる楽しさと、注意点を知ろう。

ポイント

- 何人かでちがう楽器やリズムを重ねると、1人では出せない厚みのある音楽になります。
- 自分のリズムだけでなく、まわりの音をよく聴くことが大切です。
- 音が大きい楽器は、練習する時間や場所に気をつけましょう。

打楽器のマナー

音量に注意する

楽器を投げない

みんなで片づける

大きな音が出る楽器だからこそ、まわりへの配りょが大切です。

やってみよう

1. 友だちと2人で、ちがうリズムを同時にたたいてみよう。

書いて覚えよう

打楽器で1曲

覚えたリズムで、1つの演奏を仕上げてみよう。

使った楽器

作ったリズム

むずかしい部分

練習した回数

Ken の例

使った楽器 手拍子と机／作ったリズム タン・タン・タタ・タン／むずかしい部分 速さを一定に保つこと／練習した回数 8回

ポイント

- 1つのリズムを通してたたけるようになるまで、少しずつでOKです。
- できたところを増やしていく感覚を大切にしましょう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

ひとりでも、みんなでも練習してみよう。

A (タン・タン・ウンとたたく)

B (まねしてたく)

A (別のリズムでたたく)

B (まねしてたたく)

ポイント

- A がたたいたリズムを、B が耳でまねする「まねっこ練習」です。
- 交代しながら練習すると、リズムを聴き分ける力も育ちます。

ワンポイント うまく合わなくても大丈夫。相手のリズムをよく聴くことが上達の近道です。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきには、共通した原因があります。

つまずき

よくあること

リズムが速くなる

気づかず走ってしまう

両手がそろわない

片方の動きが遅れる

音がかたい

力が入りすぎている

コツ

こうしてみよう

一定の速さを声に出して数える

足でも拍をとる

片手ずつ確認してから合わせる

ゆっくり練習する

手首の力をぬく

スティックを軽く持つ

ポイント

- できないところは、速さを落として区切って練習しましょう。
- 1つずつ直すと、全体の演奏がまとまってきます。

やってみよう

1. 自分がつまずきやすいことを1つ書こう。 _____
2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

楽器の言葉

☐ 有音程打楽器

音の高さがちがう打楽器

☐ マレット

木琴・鉄琴などをたたくばち

☐ ティンパニ

音の高さを変えられる太鼓

奏法の言葉

☐ ロール

細かく連続してたたく奏法

☐ リムショット

太鼓のふちをたたく奏法

世界の打楽器

☐ ジェンベ

西アフリカの太鼓

☐ コンガ

ラテンの太鼓

☐ カホン

箱の形をした打楽器

強弱の言葉

☐ フォルテ

強く

☐ ピアノ

弱く

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、練習のポイントも人に伝えやすくなります。

書いて覚えよう

● オ、音の高さを変えられる太鼓

家でできる練習

毎日少しずつ、リズムにふれよう。

朝

手拍子で一定のリズムを4回打つ

休み時間

机を軽くたたいてリズム遊び

帰宅後

覚えたリズムを5分練習

夕方

強弱をつけてリズムをたたく

夜

両手のロールを練習する

週末

家族に作ったリズムを聴いてもらう

ポイント

- 1回5分でも、毎日続けることが上達の近道です。
- 夜おそい時間にたたくときは、音の大きさに気をつけましょう。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

練習したリズムを、人に聴いてもらおう。

使った楽器

練習した期間

がんばったところ

聴いてほしい人

Emma の例

使った楽器 手拍子と机／練習した期間 1週間／がんばったところ ロールの速さを一定にすること
／聴いてほしい人 家族

感想を3文で書こう

① このリズムを練習して、～な感じがしました。② とくに、～のところががんばりました。③ 次は、～に挑戦したいです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

打楽器の世界は、まだまだ広がります。

もっと知りたい人へ

演奏会へ

打楽器アンサンブルを聴きに行く

動画で

世界の打楽器の演奏を見る

図書館で

打楽器の本をさがす

次のステップ

リズムパターン

曲ごとの決まったリズムの型

合奏

ほかの楽器と音を合わせる

日本の太鼓

和太鼓のリズムを知る

ポイント

- この教材の次は「弦楽器」。リズムを支える力は、合奏のどの楽器にも生かされます。

書いて覚えよう

身近な物をたたいて音を出す

たたいた音で**短いリズム**を作る

作ったリズムを家族に聴いてもらう

L33 (例) 打楽器は、たたき方や強弱を変えるだけで、いろいろな表情のリズムを作れる楽器。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。